

第8巻 第1号 (通巻第15号) 2019年7月発行

ISSN 2187-0292

埼玉透析医学会 会誌

Journal of the Saitama Society for Dialysis Therapy

Volume 8, Number 1

2019

特集

第10回 埼玉アクセス研究会 学術集会
プログラム・抄録集

第47回 埼玉透析医学会 PROCEEDINGS-2018



埼玉透析医学会

<http://www.ssdt.jp/>

埼玉透析医学会 会誌

Journal of the Saitama Society for Dialysis Therapy

Volume 8, Number 1

2019

特集

第10回 埼玉アクセス研究会 学術集会
プログラム・抄録集
第47回 埼玉透析医学会 PROCEEDINGS-2018

埼玉透析医学会

<http://www.ssdt.jp/>

INDEX

巻 頭 言	1
-------------	---

第10回埼玉アクセス研究会 学術集会 プログラム・抄録集

会場案内図・会場見取図	5
参加者へのご案内とお願い	6
発表論文原稿執筆要項について	8
プログラム	10
抄 録	
特別講演企画 エコーライブ	15
ランチョンシンポジウム	19
モーニングシンポジウム アフタヌーンシンポジウム	25
一般演題	37
世話人会一覧	43
共催企業一覧	44

第47回埼玉透析医学会学術集会 PROCEEDINGS-2018

proceedings 目次	49
腎不全医療の現況と課題	51
SHPT に対する新しい治療法 (calcimimetics 注射製剤を用いた管理方法)	56
一般演題	61

学術集会開催記録	97
----------------	----

2019年施設名簿	98
-----------------	----

埼玉透析医学会会則	100
-----------------	-----

埼玉透析医学会 役員	102
------------------	-----

次回開催のご案内

第48回 埼玉透析医学会学術集会・総会

会 期：2019年12月1日（日）

会 場：大宮ソニックシティーホール 4F 国際会議室
〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1丁目7-5
TEL：048-647-4111

大会長：雨宮 守正（さいたま赤十字病院）

会 長：松村 治（医療法人朋社会 南古谷クリニック）

演題申し込み方法：オンラインによる演題受付とします。
詳細は後日アップされる埼玉透析医学会
HPをご覧ください。

演題募集期間：2019年8月1日～9月30日

事務局：埼玉医科大学病院 腎臓内科 岡田 浩一
〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38
TEL：049-276-1611
FAX：049-295-7338
E-mail：jinnai@saitama-med.ac.jp

第11回 埼玉アクセス研究会 開催の予定

会 期：2020年8月30日(日)

※東京オリンピックの都合上、例年と開催時期が異なります。

会 場：大宮ソニックシティーホール 2F 小ホール

〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1丁目7-5

TEL：048-647-4111

会 長：中川 芳彦(関越腎クリニック)

演題申し込み方法：オンラインによる演題受付とします。

詳細は後日アップされる埼玉透析医学会
HP をご覧ください。

共 催：埼玉透析医学会

事 務 局：埼玉医科大学総合医療センター 血液浄化センター

小川 智也

〒350-8550 埼玉県川越市鴨田1981

TEL：049-228-3523

FAX：049-226-6822

E-mail：jinkojin@saitama-med.ac.jp

巻 頭 言

人生100年時代の透析医療を思う



埼玉透析医学会 会長

松村 治

新しい年号令和が5月の10連休と共に始まり、マスコミ報道からは新時代の幕開けのように感じました。令和の時代は科学技術が飛躍的に進化し、医療分野においても近い将来 AIによる医療革新が起こるものと思われまます。その結果起こる医療の変貌は、想像を超えたものとなるのでしょうか。

透析医療は昭和から平成と着実な進歩・発展を遂げてきました。透析医療にも AI の利用が進むと思われまますが、それ以前に2025年問題として想定されている超高齢化社会が待っています。ご存じの通り埼玉県は、今後全国一の速さで高齢化が進むと推計されています。即ち令和における直近の命題は、透析を含む高齢者医療であると考えまます。保険診療として50年以上の歴史があるわが国の慢性透析療法は、世界で最も良好な治療成績です。しかし、その治療成績は年間粗死亡率10%弱、5年生存率60%強で、2015年に公表された主要5大癌の平均5年生存率64.3%を下回っています。さらに高齢者では腎不全以外に心疾患、脳血管障害、悪性腫瘍および認知症などの他疾患を合併していることが多く予後不良となります。また高齢者では透析提供だけでなく、他科および多職種による医療連携が必須となります。そして医療連携の中心的役割は週3回透析を行う「かかりつけ」の透析施設が担うことを求められると思いまます。

人生100年時代とは言っても限りある命です。透析の有無に関わらず安らかな旅立ちを願うのは本人家族だけではなく看取る使命のある医療者も同じと思いまます。公立福生病院における透析終了、透析非導入に関する日本透析医学会ステートメントを読むと医療現場の苦悩を感じまますが、バスキュラーアクセストラブルが透析終了の主因となったことは残念でなりません。超高齢化時代を迎えて透析医療に関する新たな指針が求められており、日本透析医学会の「透析の開始と継続に関する意思決定プロセスについての提言作成委員会」が令和2年3月末に公表する予定の提言に注目したいと思いまます。

最後になりましたが、令和元年の埼玉アクセス研究会は記念すべき第10回大会となります。これまで本研究会にご尽力された関係各位に敬意を表するとともに、本研究会が参加施設のアクセス管理と医療連携の維持・向上に貢献し続けることを切に願いまます。

令和元年6月

10th Saitama Society For
Dialysis Access

Abstract 2019

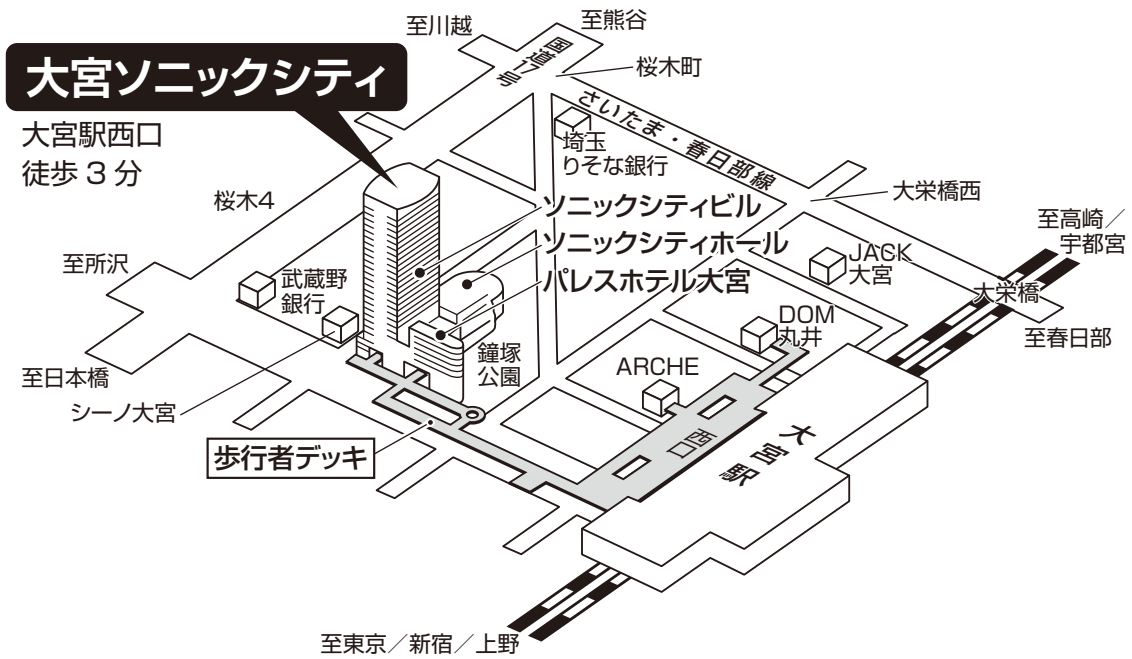
第10回埼玉アクセス研究会学術集会

- 会 長：中川 芳彦 (関越腎クリニック)
- 副会長：四宮 敏彦 (大宮中央総合病院)
- 日 時：令和元年7月28日(日) 9:20～
- 会 場：大宮ソニックシティ 市民ホール(ビル棟4階)

共催：埼玉透析医学会

事務局：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田1981
埼玉医科大学総合医療センター 血液浄化センター
TEL：049-228-3523 / FAX：049-226-6822
URL：http://www.saitama-med.ac.jp/kawagoe/
E-mail：jinkojin@saitama-med.ac.jp

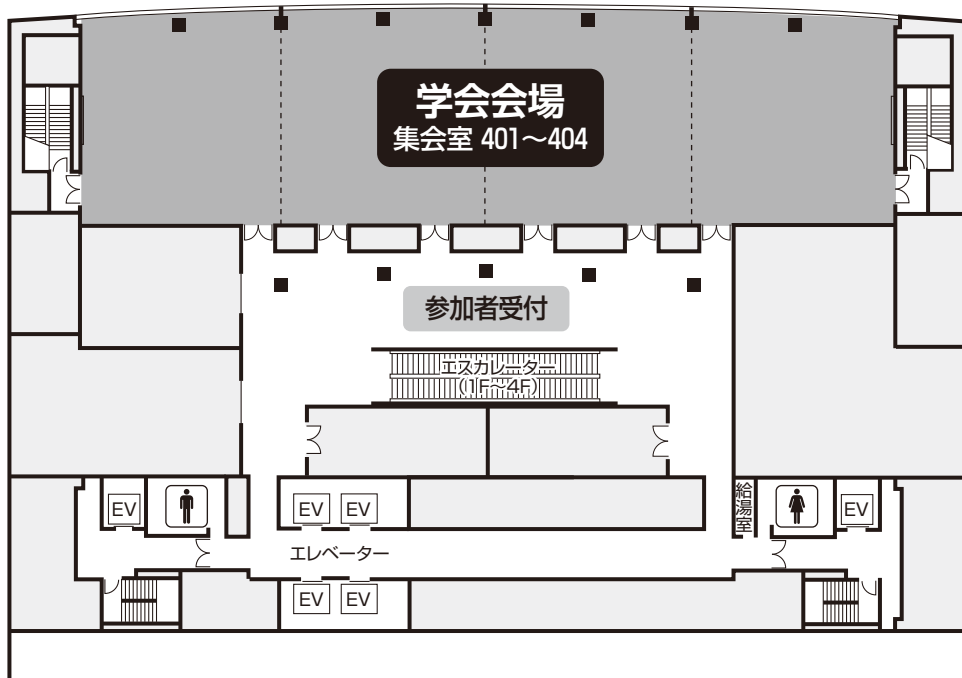
会場案内図



お問い合わせ
財団法人埼玉県産業文化センター（大宮ソニックシティ）
〒330-8669 さいたま市大宮区桜木町1丁目7番地5
ソニックシティビル5階 埼玉県産業文化センター
TEL：048-647-4111 TEL：048-647-4159

会場見取図

（大宮ソニックシティ 4F 市民ホール）



参加者へのご案内とお願い

■参加者の皆様へ

1. 会 期 2019年7月28日(日)
2. 会 場 大宮ソニック市民ホール(ソニックシティービル4F)
(さいたま市大宮区桜木町1-7-5)
3. 開場・受付開始時間 9:00～
4. 開演時間 9:20～16:35
5. 参加費 1,000円
6. 発言される際はマイクを使用し、最初に所属と氏名を明らかにしてください。限られた時間内に討論ができるように、予めマイクの前にお並びください。
7. 携帯電話のご使用はロビーとし、会場内ではマナーモードの設定をお願いします。
8. クロック、貴重品のお預かりはできませんのでご了承ください。
9. 会場内の喫煙は禁止されておりますのでご了承ください。
10. 一般演題の中から厳正な審査を行い、BestPresentation に対して表彰を行います。
11. 5学会合同認定“透析療法指導看護師”の受験資格ポイント取得対象会として認定されています。

■埼玉透析医学会の役員、埼玉アクセス研究会世話人、司会・座長の方へ

演題の審査表を受付にてお受け取りください。審査後は受付へのご提出をお願いします。

■司会・座長・コメンテーターの方へ

1. ご担当セッションの開始予定時間20分前までには総合案内にて参加受付をお済ませください。
2. セッション開始15分前には、会場担当者へ到着のご連絡を頂き次司会・次座長席へご着席ください。
3. 限られた時間内で発表が円滑に進むよう、質問・討論を希望される参加者がいる場合は、司会者が指名し質問・討論が速やかに行われるようご指示ください。

■演者の方へ

1. 一般演題は発表7分、討論3分とさせていただきます。
2. セッション開始15分前までに次演者席にお着きください。
3. 発表方法はデジタルプレゼンテーション(パソコン発表)のみとします。
4. 発表時間30分前までにUSBのメディアを持参し、PC受付でご確認ください。

5. プレゼンテーションは Windows PowerPoint (データ作成のアプリケーションソフトは Windows PowerPoint2010/2013/2016のバージョンが使用できます)での作成に限らせていただきます (Mac の Keynote でスライドを作成した場合は、スライドが正しく表示されない可能性があります)。
6. Windows PowerPoint にて作成したスライドは、スライドのサイズ設定を (4 : 3) に設定してください。
7. スライドの枚数制限はありませんが、発表時間を厳守してください。
8. PC 持ち込みの場合、会場でご用意する PC ケーブルコネクタ (Din-sub 15pin) の形状に変換するコネクタを必要とする場合には、必ずご自身でお持ちになってください (特に Mac を持ち込みの場合、Din-sub 15pin 接続ケーブルの持参をお願いいたします)。HDMI には対応しておりません。
9. 埼玉透析医学会記録集に掲載する原稿を8月末までに事務局へご提出ください。
10. 当日の発表時に利益相反についての情報開示をお願いいたします。
発表の最初か最後に利益相反自己申告に関するスライドを加えてください。
後述する「利益相反自己申告に関するスライド例」を参考にしてください。
11. 閉会挨拶時に BestPresentation の表彰を行いますので、ご参加をお願いいたします。

■発表について

演台にキーボード、マウスがごございます。データ持ち込み、PC 本体持ち込み、いずれの場合も、演台にセットされているキーボード、マウスをご使用ください。会場では、演者ご自身で演台上の機材を操作していただきます。お預かりしたデータの1枚目のページをオペレーターが出しますので2枚目からはご自身で送り・戻しの操作をお願いいたします (発表者ツールのご使用はできません)。

「利益相反自己申告に関するスライド例」

【スライド例】
発表時、申告すべきCOI状態がない場合

**第10回 埼玉アクセス研究会
COI開示**

筆頭発表者名 : ○○ ○○

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などはありません。

【スライド例】
発表時、申告すべきCOI状態がある場合

**第10回 埼玉アクセス研究会
COI開示**

筆頭発表者名 : ○○ ○○

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などとして、

①顧問:	なし
②株保有・利益:	なし
③特許使用料:	なし
④講演料:	なし
⑤原稿料:	なし
⑥受託研究・共同研究費:	○○製薬
⑦奨学寄附金:	○○製薬
⑧寄附講座所属:	あり(○○製薬)
⑨贈答品などの報酬:	なし

発表論文原稿執筆要項について

本学術大会でご発表された内容は、埼玉透析医学会会誌(第8巻2号)掲載用の論文として収載して頂くをお願いしております。下記の会誌投稿に関する内規に承諾していただき、発表スライドの当日受付で提出、もしくは令和元年8月31日(土)までに下記送付先までE-mailまたはCDで提出をお願いいたします。

特別講演

ご担当頂いた講演について総説としてご執筆賜りたくお願い致します。

シンポジウム・一般演題

ご発表頂いた演題について発表論文としてご投稿下さいますようお願い致します。

会誌投稿に関する内規

埼玉透析医学会(以下「当会」という)は、「当会」が発刊する「会誌」への投稿に関し、以下のとおり定める。

1. 投稿の種類

「当会」が発刊する「会誌」への投稿は、①埼玉透析医学会および埼玉アクセス研究会の学術集会で発表されたものから、発表論文として論文集に掲載するために投稿するものと、②会誌編集委員会の企画により、投稿を依頼されたものとする。なお、論文は透析医療に関するもの、会員に対し有益な内容で、他誌に発表されていないもの(抄録を除く)あるいは投稿中でないものに限るものとする。また、個人情報保護の観点から容易に個人が特定されないように十分に配慮しなければならない。利益相反がある場合は記載すること。

2. 投稿資格

論文の筆頭著者は原則として「埼玉透析医学会の施設会員」とする。

3. 原稿の作成

- 1) 原則としてパーソナルコンピュータを使用し、文字のみの本文を Word または Text のファイル形式で作成する。
- 2) 文字数は図表を含めず総説は8,000程度、発表論文は4,000程度を目安に作成し、本文には頁をつける。
- 3) ①図表は Word、Excel、Power Point、JPEG、GIF で作成する(写真などは鮮明なものを使用する)。
②掲載は原則的に白黒印刷であるため、カラーで提出される場合は印刷時のコントラストに配慮する。
③図表は本文とは別のファイルを用意し、図表の下に番号を記し、本文中に挿入位置を明示する。
※他誌書から図表を転載利用する場合(自筆も同様)は、著作者ならびに出版元の許諾が必要となる。

4) 文献は主要なもののみ10点以内とし、文中の引用箇所には、半角上付で引用順に1), 2) 3~5)のように記載し、著者4名以上の場合は“…, 他 ”“…, et al”とする。

①雑誌の場合 著者名：論文名. 雑誌名 巻：頁(初め-終わり), 西暦年

②書籍の場合 著者名：論文名. 書籍名(編者名), 頁(初め-終わり), 出版社名, 所在地, 西暦年

③誌名を略記する場合 出版雑誌の定める略名を使用し、また外国のものは Index Medicus の略称に準じる。

④「孫引き」を避け、必ず原典にさかのぼって出処を明示する。

4. 論文の体裁

表題頁、本文、文献、図表の順にまとめる。

1) 表題頁には①題名、②著者および共同著者(全員フリガナを明記)、③所属施設名、④連絡先(筆頭者の所属、郵便番号、住所、電話番号、FAX 番号、電子メールアドレス)を記載する。

2) 本文はI. 緒言(はじめに、まえがき)、II. 研究方法(対象、症例、方法)、III. 研究結果(結果)、IV. 考察、V. 結論(結語、まとめ、おわりに)の順序で記述する。

5. 著作権

学会誌の掲載内容(インターネット上で公開する電子媒体を含む)の著作権は、「当会」が保有するものとする。また投稿者は、投稿内容が受理され学会誌に掲載された場合、学会誌掲載内容がインターネット上で公開されることについて了解しているものとし、これによる使用料は「当会」に帰属するものとする。

6. 校 正

会誌出版社の編集後、著者校正を依頼する。

7. 原稿締切

令和元年8月31日(土)必着とする。

8. 原稿の送付先

〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38

埼玉医科大学病院 腎臓内科

埼玉透析医学会事務局 宛

TEL : 049-276-1611 FAX : 049-295-7338

URL : <http://www.ssdt.jp> E-mail : jinnai@saitama-med.ac.jp

※原則として送付いただいたメディアは返却いたしませんのでご了解ください。

第10回埼玉アクセス研究会学術集会(共催:埼玉透析医学会)
プログラム

令和元年7月28日回

9時00分 受付開始 9時20分 開会

開会式 9:20~9:30

埼玉透析医学会 会長 松村 治
埼玉アクセス研究会 会長 中川 芳彦

モーニングシンポジウム 9:30~10:50

(共催:鳥居薬品株式会社、ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社)

『平成を振り返り、令和の埼玉アクセス発進へ①』

司会:中川 芳彦(関越腎クリニック)

江泉 仁人(戸田中央総合病院)

S1-1 シェント不全のリスク因子および術中シェント血流量測定の有用性

自治医科大学附属さいたま医療センター 進藤 充稔 他

S1-2 血流が分散するシェントに対する治療検討

埼玉医科大学総合医療センター 清水 泰輔

S1-3 血流が分散するシェントの詳細な検討および治療方針

赤心クリニック 木場 藤太

S1-4 AVG内シェント PTA 施行中に急性血栓性閉塞を呈した症例の経験

戸田中央総合病院 江泉 仁人

S1-5 CTO(Chronic Total Occlusion)に対する
PTA(Percutaneous Transluminal Angioplasty)の有用性

埼玉友草加病院 佐伯 直純

特別講演企画 エコーライブ 11:00～12:00

(共催：協和キリン株式会社、中外製薬株式会社、富士フィルムメディカル株式会社)

司会：小川 智也(埼玉医科大学総合医療センター)

『超音波検査 ～検査技師の知見から～』

山本 裕也 技師(大川 VA 透析クリニック)

『超音波検査 ～臨床工学技士の知見から～』

佐々木 裕介 技士(埼玉医科大学総合医療センター)

ランチョンシンポジウム 12:10～13:30 (共催：株式会社メディコン、キッセイ株式会社、ニプロ株式会社)

『エコーを用いたバスキュラーアクセス管理』

司会：小澤 友也(康正会総合クリニック)

稲庭 由美子(悠友会志木駅前クリニック)

コメンテータ：古堅 聡(深谷赤十字病院)

LS-1 ポータブルエコー導入からエコーガイド下穿刺への取り組み

赤心クリニック 内田 麻子 他

LS-2 当院におけるバスキュラーアクセス管理の取り組み

～エコーを用いたモニタリングからガイド下穿刺を中心に～

北浦和腎クリニック 廣澤 満義

LS-3 当院における超音波装置を使用した穿刺の現状について

埼玉医科大学総合医療センター 吉田 優 他

LS-4 在宅血液透析における VA エコーの有用性

さやま腎クリニック 生沼 直人 他

一般演題1 13:35～14:25

座長：高根 裕史(岡村記念クリニック)

千葉 英美子(自治医科大学附属さいたま医療センター)

O1-1 シャントマッピングを用いた自己血管移植術

友愛日進クリニック 下山 博史 他

O1-2 穿刺可能部位の確保をねらい、逆行性の静脈静脈(V-V)人工血管バイパスを術式として選択施行した2症例の検討

南町クリニック 村上 徹

O1-3 当院における経皮的血管形成術(PTA)手技
US下PTA、透視下PTA、ハイブリッドPTAの特徴と適応

大宮中央総合病院 四宮 敏彦 他

O1-4 肘の皮下静脈が荒廃し不具合を生じた内シャントに対しての次なる一手

関越腎クリニック 中川 芳彦 他

O1-5 VAIVTにおける被曝低減への取り組み

さいたま北部医療センター 睦好 祐子 他

一般演題2 14:25～15:05

座長：村杉 浩(埼玉医科大学病院)

平原 浩(南古谷クリニック)

O2-1 当院におけるエコーガイド下穿刺の教育

関越病院 山下 勇貴 他

O2-2 当院での急性シャント閉塞症例におけるシャントエコー所見の検討

エイトナインクリニック 小林 茉由 他

O2-3 当院のVA管理チーム発足後3年間の取り組み

埼玉草加病院 佐藤 聖美 他

O2-4 シャントを自分で守る意識づけに役立てた当院としての取り組み
～アンケート調査を経て～

南町クリニック 小鹿野 裕子 他

アフタヌーンシンポジウム 15:05～16:25

(共催：株式会社カネカメディックス、日機装株式会社、扶桑薬品工業株式会社)

『平成を振り返り、令和の埼玉アクセス発進へ②』

座長：四宮 敏彦(大宮中央総合病院)
佐伯 直純(埼玉草加病院)

S2-1 PTA 苦戦症例の検討

埼玉石心会病院 野辺 香奈子

S2-2 表在化後上腕動脈瘤に対する外科的処置

埼玉医科大学病院 近藤 立雄 他

S2-3 上腕動脈表在化手術でのトラブル経験
— 苦い自験例から —

関越病院 松田 香 他

S2-4 実験から見た人工血管選択 令和版

大宮中央総合病院 四宮 敏彦

S2-5 上腕 AVG の現況および長期開存への工夫
— Axillary loop AVG を中心に —

望星病院 浅野 学

表彰式・閉会式 16:25～16:35

埼玉アクセス研究会 会 長 中川 芳彦
埼玉アクセス研究会 副会長 四宮 俊彦

ランチョンシンポジウム

エコーを用いたバスキューラーアクセス管理

ポータブルエコー導入からエコーガイド下穿刺への取り組み

○内田 麻子(ウチダ アサコ)¹⁾、大澤 恵里²⁾、加藤 初彦¹⁾、佐藤 美奈子¹⁾、
味園 利恵子¹⁾、平田 麻須美²⁾、木場 藤太¹⁾

1) 社会医療法人社団尚篤会 赤心クリニック、

2) 社会医療法人社団尚篤会 赤心堂病院

これまでシャントトラブルに対する超音波検査はすべて、クリニックに隣接する病院所属の臨床工学技士と臨床検査技師のダブルライセンス所持者が行ってきた。穿刺困難などの現場で解決できるトラブルに対応できるよう、昨年3月末に透析室にポータブルエコーを導入したが、1ヶ月経過後も透析室スタッフが使用する様子は見られなかった。使用しない原因を探るために透析室で勤務する医師・看護師・臨床工学技士を対象に、使用状況・エコーに対する意識などのアンケートを実施した。

アンケート結果より装置の操作方法・プローブの扱い方といった基礎的な部分への不安が使用の妨げとなっていることがわかった。そこで、日常的に超音波検査を実施しているスタッフが医師とともに講師となり、ハンズオン形式の院内講習会を開催した。複数回の院内講習会実施後、自主的に使用する透析室スタッフの様子が見られ、アンケート結果からもエコーの使用率が上がったことがわかった。

ポータブルエコーの導入から1年が経過し、穿刺困難での超音波検査依頼件数は減少してきている。その要因として、穿刺困難患者に対して数名のスタッフが実際にエコーガイド下穿刺を行っていることが考えられる。さらには、透析室スタッフによるエコーの使用率上昇とともに血管走行やシャントトラブルに対する知識が向上したことも要因と考えられる。エコーガイド下穿刺を行う際の難しい点としては、左手(非利き手)での安定したプローブ操作、針を持つ右手のみでの皮膚の伸展が挙げられ、練習方法および模擬血管(シミュレータ)の見直しを行っている。

今回は、これまでの当院における一連の取り組みについて報告する。

当院におけるバスキュラーアクセス管理の取り組み ～エコーを用いたモニタリングからガイド下穿刺を中心に～

○廣澤 満義(ヒロサワ ミツヨシ)
医療法人さくら 北浦和腎クリニック

【背景・目的】血液透析を円滑に維持・継続するには、形態・機能共に優れたバスキュラーアクセス（以下、VA）が必要不可欠である。近年では透析患者の高齢化や長期透析症例の増加で、血管の荒廃が著明な症例や糖尿病患者・高齢での血液透析導入も増加しており、VAトラブルも発生しやすい状況となり、穿刺可能部位も限定されてしまい、熟練したスタッフでさえ穿刺に難渋するケースが散見される。当院においても、その維持管理には注力しており、理学所見の観察やニプロ社製透析モニター『HD02』（以下、HD02）を用いての機能評価に加え、超音波診断装置（以下、エコー）による形態評価を実施し、VAトラブルの早期発見や治療、穿刺が難渋するケースに対してのエコーガイド下穿刺を実施してきたので、その現状を報告する。

【対象・方法】当院にて外来維持透析中の患者80名に対して、透析毎の理学所見の確認、1回/月でのHD02による機能評価、1～6ヶ月間隔でのエコーでの形態評価を実施、必要に応じてエコー下PTAを施行。穿刺に難渋する症例に対してはエコーガイド下穿刺を実施した。またスタッフ、エコーガイド下穿刺実施患者、ブラインド（通常）穿刺患者、それぞれにアンケートを取り集計を行い、秀逸点・問題点を精査した。

【結果・考察】理学所見の確認やHD02での機能評価、エコーでの定期的な形態評価を取り入れ、適宜PTAを施行する事で、VAの突然閉塞の件数は減少させる事が可能と考えられた。また、複数の視点からVAを観察することでトラブルに対して迅速に対応する事ができると考えられた。エコーガイド下穿刺についてのアンケートでは、穿刺難渋患者群については好印象をもって受け入れられている結果となったが、エコーが使用中だと穿刺を待たされるといった声も聞かれた。ブラインド穿刺群では、トラブル時にも確実に直してくれるから良いとの回答が多かった。スタッフの回答では取り組みたいが基本から分からない、怖いといった意見が多く、教育システムの見直しが急務であると感じた。

【結語】透析室でのエコーを用いたVA管理はしっかりとしたスタッフ教育体制を構築してこそ、有効性が最大限に発揮できる。

編集後記(第8巻 第1号)

埼玉透析医学会会誌は、誕生から今年で8年目となりました。また、埼玉アクセス研究会においては、今回で節目となる第10回を迎えることができました。微力ではありますが、関わらせて頂いた私としては大変嬉しく思っております。そして今日まで、この学術誌に携わっていただいた方々にお礼を申し上げます。

5月1日より元号が「令和」となりました。和という文字が使われているためか、昭和生まれの人には、若干なじみやすいと感じている人もいないでしょうか。元号を使用しているのは、世界で唯一日本だけだそうです。「令和」は、1,200年余りに編さんされた日本最古の歌集である万葉集の「初春の令月にして 気淑(よ)く風和(やわら)ぎ 梅は鏡前の粉(こ)を披(ひ)らき 蘭(らん)は珮後(はいご)の香を薫(かお)らす」との文言から引用され、人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つという意味が込められているそうです。「人々が美しく心を寄せ合う」＝「多職種によるチーム医療(透析医療)」 「文化が生まれ育つ」＝「県内医療機関の連携により透析医療が強固なものとなる」と言い換えられるのではないのでしょうか。

これからの日本は、高齢化と長寿命化が進展し、医療と介護の需要が増加します。皆様もご存じの通り、今後さらに高齢透析患者が増加し、高齢者特有の病態を考慮した治療とケアや終末期における透析医療の在り方を考える必要があります。これからも、課題に前向きに取り組み、より良い透析医療の未来について、皆様と共に考える場として活用していただけるような埼玉透析医学会会誌でありたいと考えております。引き続き、埼玉透析医学会へのご支援とご協力を賜わりたく存じます。宜しく願い申し上げます。

埼玉医科大学総合医療センター 看護部

長谷川 総子

埼玉透析医学会 会誌

発行日：2019年7月1日

発行：埼玉透析医学会

発行人：松村 治

編集：埼玉透析医学会 事務局

事務局：埼玉医科大学病院 腎臓内科

〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38

TEL：049-276-1611 FAX：049-295-7338

URL：<http://www.ssdt.jp/>

E-mail：jinnai@saitama-med.ac.jp

編集責任者：岡田 浩一

編集委員：小川 智也、金山 由紀、佐々木 裕介、

長谷川 総子、伊佐 慎太郎、村杉 浩

出版：株式会社セカンド

〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F

TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025

定価：2,000円＋税